

コメント3

杉本 星子 京都文教大学

三つのご報告ともたいへん勉強になりましたし、どれもわくわくするようなご報告でした。私は前回インドのサリーを中心として、インドのナショナリズムと絡みながら民族衣装がいわゆるナショナルなものになり、さらにそれがファッションになり、それがまた現代においてどう政治とつながっているかというお話をしました。

日常的に着られているものが国民国家の形成のなかで民族のエスニックなものとして位置付けられ、さらにそれがグローバル化のなかで、国を代表するような表象を付けられる。そしてナショナルな価値を帯びたそれが、現代もう一度環流してローカル化するという大きな流れが存在します。本日の佐藤さんのお話も香室さんのお話も、こうした世界の民族衣装をめぐる動きに添ったものだと思います。

前回は含めてですが、これまでこうした話は、特にグローバル経済との関係で語られることが多く、特にインドで議論をするときはそうなるのですが、本日の報告では背景にある政治的なコンテキストがとても重要だということについてあらためてお話しただいて、私としてはそこがとても興味深く感じました。

■ ミャオの刺繍のアンティーク的価値および女性のエンパワーメントと文化財化との関係

報告者のみなさんそれぞれに質問したいと思います。まず佐藤さんですが、消費と商品化が本日のお話のキーワードだったと思います。グローバルに商品が流通する場には、布にも刺繍にも、アンティークのネットワークが存在しています。そのアンティークもいわゆる安物だけではなく、美術品としてのアンティークもあります。ミャオの刺繍品などはそういった市場でも価値を持っているのではないかと思われます。その点についてお教えてください。

もう一つ、たとえば中国の民族衣装ですと、ろうけつがプリントになったり、あるいはリボンを使うようになったりという変化があります。そうしたことが起こっていくことによって、逆に手作りのものが

評価されて文化財化していくという動きがあると思います。そのときに、東南アジアやインドでもそうですが、女性が手仕事をして伝統的な刺繍を作ることが女性のエンパワーメントと結びつけられて、そういった文化財化につながっていくことがあります。そうした動きが佐藤さんのフィールドであるのかなということです。

あと一つは、ミャオの民族衣装が高評価されるような動きが現在の中国での若い人たちの漢服の流行にも何らかの大きな影響を与えているのでしょうか。このあたりを補足で教えていただければ、ありがたいと思います。

■ 輸入布が民族衣装に与えた影響とヘレロ以外のエスニックドレスの動きは

香室さんのお話も、アフリカの本当にすてきな衣装を見せていただき、特に宗主国との複雑な関係のなかで、自分たちのアイデンティティを創出していくところがすばらしいなと思って聞きました。

先ほど素材についてうかがった際に、もともと輸入布だとおっしゃっておられました。ドイツが宗主国ですからドイツやオランダから入っていたと思いますが、おそらく第一次世界大戦以降やその前後ぐらいから、日本の布がかなり入っていったのではないのでしょうか。さらにはインドの布も入っていったと思われる。この輸入の布の市場の拡大や流通の拡大と、こうした民族衣装の一般化あるいはその創造というのは何か関連があるのだろうかということが一つです。

もう一つは、最後のほうに新しいデザイナーさんの民族衣装で少し他のグループのお話が出ていましたが、こうした自分たちのエスニックドレスを作る動きは、他の民族でも同じようにあって、本日お話しいただいたグループがそのリーダー的な役割を果たしているという位置付けなのかどうか。このあたりを教えてください。

■ 世界に向けた各地の民族衣装の輸出において 中国側の創意工夫は見られるか

松本先生のお話もたいへん興味深くうかがいました。じつは私は横浜のプリント布の輸出の話をいろいろ聞き取り調査していたのですが、1970年代ぐらいまでは、日本の布がたくさん輸出されていたそうです。特にアラブ世界が大きな市場です。そのアラブ世界に輸出していた方に、いろいろな見本商品を見せていただいたなかで、黒のブルカに刺繍が付いている製品があって、「じつはこれは自分たちが始めた」というお話をしてくれました。日本がそれを売り出したところものすごくヒットしたと。現在ではアラブの服に刺繍がついたものをよく見かけますし、特にインドではかなりそれを着ています。それに関連して、輸出する側が何らかの工夫をして影響を与えていくようなことが、中国で世界の民族衣装を作っている現場でも、それを注文に来る人たちとの話し合いのなかで起こっているのかどうかをうかがいたいと思います。

特に気になっているのは、インドのサリーの布地もかなり中国から入ってきていて、そこにキラキラしたものが入ったりしています。そのあたりに、ただ注文されたものを作るだけではなく、もっと売れるための工夫があるように感じます。中国で作る際に、そうした事例をご覧になったことがあるかどうかという質問です。